

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 解剖学Ⅲ	3 学年	指導担当者名 土谷昌広	講義	開講区分	前期/後期
	夜間部			時間数 (単位)	60 (2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

基本は講義中心ですが、資料（プリントなど）配布や理解度確認テストを行い、知識の統合・展開を図ります。講義では人体の構造を様々な構成レベル（階層性や器官系）に分解して、正常状態においてそれぞれがどのような役割を果たしているのか、またどのように協調してはたらくのかを学びます。

【到達目標】

人体の正常状態における器官系を基とした構造の知識を通じ、どのように生きているのかについて学ぶ。

【使用教材、参考文献等】

全国柔道整復学校協会監修教科書解剖学

【準備学習・時間外学習】

行う必要がある

回	授業概要	回	授業概要
1	内臓系_総論	16	尿管・膀胱
2	消化管の構造と働き	17	尿道
3	口腔・食道	18	泌尿器のまとめ
4	胃・腸	19	生殖器の構造と働き
5	肝臓・胆嚢	20	精巣と精管
6	腹膜・消化管のまとめ	21	陰茎・陰嚢など
7	呼吸器の構造と機能	22	卵巣
8	鼻道・咽頭	23	卵管・子宮
9	喉頭・期間	24	膣・外陰部・女性ホルモン
10	肺	25	生殖器のまとめ
11	縦隔	26	内分泌器の構造と働き
12	呼吸器のまとめ	27	下垂体
13	泌尿器の機能と構造	28	松果体・甲状腺・上皮招待
14	腎臓①	29	副腎・睪嚢
15	腎臓②	30	性ホルモンと内分泌器のまとめ

評価法

授業態度5% (積極的に授業に参加しているか。不要な私語や携帯電話の利用がないか。)
定期試験80%

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3学年	指導担当者名	講義	開講区分	前期/後期
生理学Ⅲ	夜間部	波田野悠夏/鈴木敏彦		時間数 (単位)	60(2)

【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師として必要な身体の機能・機序を幅広く理解する。3年生の解剖学Ⅲで学習する内臓学の進行状況を踏まえ、消化と吸収、尿の生成と排泄についてその機能と調節メカニズムを学ぶ。また恒常性の維持に関係の深い体温の機能と調節機序を学習する。最後に内部環境と外部環境を知る機能である「感覚」の生理学を学習する。

【到達目標】

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| ◎ 消化管の運動とその調節を説明できる。 | ◎ 異常体温とその回復機構を説明できる。 |
| ◎ 消化液の分泌機序、消化液の作用と栄養素の吸収機序を説明できる。 | ◎ 体温の気候順化を説明できる。 |
| ◎ 消化管ホルモンの特徴と作用、分泌機序を説明できる。 | ◎ 腎臓の構造と機能、腎機能の評価方法を説明できる。 |
| ◎ 肝臓の機能と胆汁の機能を説明できる。 | ◎ ネフロンでのろ過、再吸収、分泌機序を説明できる。 |
| ◎ ヒト体温の特性、生理的変動、調節機序を説明できる。 | ◎ 排尿の機序を説明できる。 |
| ◎ 体熱の産生と放散の機序を説明できる。 | ◎ 感覚の一般的性質を説明できる。 |
| ◎ 汗の機能を説明できる。 | ◎ 体性感覚、内臓感覚、特殊感覚の受容と伝達を説明できる。 |

【使用教材、参考文献等】

【準備学習・時間外学習】

教科書： 全国柔道整復学校協会監修 生理学(改訂第3版)

次時予告に従い教科書に目を通しておく。また授業時の確認テストを復習に活用する。

回	授業概要	回	授業概要
1	5. 消化と吸収	16	生理学と関連領域の総復習
2	5. 消化と吸収	17	生理学と関連領域の総復習
3	5. 消化と吸収	18	生理学と関連領域の総復習
4	5. 消化と吸収	19	生理学と関連領域の総復習
5	5. 消化と吸収	20	生理学と関連領域の総復習
6	5. 消化と吸収	21	生理学と関連領域の総復習
7	8. 尿の生成と排泄	22	生理学と関連領域の総復習
8	8. 尿の生成と排泄	23	生理学と関連領域の総復習
9	8. 尿の生成と排泄	24	生理学と関連領域の総復習
10	7. 体温とその調節	25	生理学と関連領域の総復習
11	7. 体温とその調節	26	生理学と関連領域の総復習
12	16. 感覚の生理学	27	生理学と関連領域の総復習
13	16. 感覚の生理学	28	生理学と関連領域の総復習
14	16. 感覚の生理学	29	生理学と関連領域の総復習
15	16. 感覚の生理学	30	生理学と関連領域の総復習

評価法

前期・後期の定期試験によって行う(4肢択一・択二式)。
※上部記載の時間数(単位)は通年のものである。

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 一般臨床医学Ⅱ	3学年	指導担当者名	講義	開講区分	前期/後期
	夜間部	小野 栄夫		時間数 (単位)	30(1)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

各種疾患に関わる医学の基礎知識を身につける。さらに、得られた医学知識が本科の医学知識が柔整臨床にどのように関係するか、どう生かされるべきかを考える。

【到達目標】

種々の疾患の医学基礎を習得する。

【使用教材、参考文献等】

一般臨床医学 (改訂第3版)

【準備学習・時間外学習】

教科書・授業プリントを用いた復習

回	授業概要	回	授業概要
1	血液疾患Ⅰ	16	
2	血液疾患Ⅱ	17	
3	血液疾患Ⅲ	18	
4	膠原病Ⅰ	19	
5	膠原病Ⅱ	20	
6	腎・尿路疾患Ⅰ	21	
7	腎・尿路疾患Ⅱ	22	
8	中間試験	23	
9	感染症Ⅰ	24	
10	感染症Ⅱ	25	
11	神経系疾患Ⅰ	26	
12	神経系疾患Ⅱ	27	
13	神経系疾患Ⅲ	28	
14	一般臨床医学各論基礎Ⅰ	29	
15	一般臨床医学各論基礎Ⅱ	30	

評価法

教務で定める定期試験の成績による

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3 学年	指導担当者名	講義	開講区分	前期/後期
外科学概論	夜間部	宇都宮昭裕		時間数 (単位)	60 (2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師に必要な外科学の基礎知識を学習する。教科書(南江堂・外科学概論・改訂第4版)を元に、資料を用いてその内容を掘り下げ知識を確実なものとしていく。練習問題にて理解度を確認する。

【到達目標】

柔道整復師国家試験合格と生涯に渡り役立つ外科学知識を習得する。

【使用教材、参考文献等】

外科学概論(南江堂)、国家試験問題集、他

【準備学習・時間外学習】

講師所蔵の写真資料・外科ビデオ供覧、他

回	授業概要	回	授業概要
1	損傷①(分類、診断)	16	麻酔①(概要、分類、方法)
2	損傷②(治癒経過、治療、熱傷)	17	麻酔②(適応、方法、合併症)
3	損傷③(練習問題、解説)	18	麻酔③(練習問題、解説)
4	炎症・外科感染症①(分類、診断)	19	移植・免疫(分類、方法、練習問題)
5	炎症・外科感染症②(治療)	20	出血・止血①(分類、診断、治療)
6	炎症・外科感染症③(練習問題、解説)	21	出血・止血②(練習問題)
7	腫瘍①(概念、分類、診断、治療)	22	心肺蘇生法(方法、練習問題)
8	腫瘍②(練習問題)	23	脳神経外科疾患①(症候、診断)
9	ショック①(病態、治療)	24	脳神経外科疾患②(診断、治療)
10	ショック②(練習問題、解説)	25	脳神経外科疾患③(練習問題、解説)
11	輸血・輸液①(分類、適応)	26	甲状腺・頸部疾患・乳腺疾患(診断、治療)
12	輸血・輸液②(練習問題、解説)	27	胸壁・呼吸器・心臓疾患①(診断、治療)
13	消毒・滅菌(各種方法、練習問題)	28	胸壁・呼吸器・心臓疾患②(練習問題、解説)
14	手術(分類、方法)	29	腹部外科疾患①(診断、治療)
15	手術(練習問題、解説)	30	腹部外科疾患②(練習問題、解説)

評価法 前期2回と後期2回、計4回のマークシート方式による試験にて学習到達度を計る

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 リハビリテーション医学	3 学年	指導担当者名 小林 武	講義	開講区分	前期/後期
	夜間部			時間数 (単位)	60 (2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

リハビリテーションの目標は、障害を持つ人々が身体的、精神的、社会的、職業的、経済的に最大の能力に達するまで回復させることである。そのため、評価、目標設定、介入計画立案、介入の実践、帰結評価という過程を繰り返すことになる。本講義では、多様な疾患の医学的リハビリテーションに携わった経験のある理学療法士が、リハビリテーション医学の概念、対象、評価、介入方法とその適度などについて教授する。

【到達目標】

リハビリテーション医学の概念、歴史、対象、評価、介入方法とその適用について説明できる。各種の疾患・障害における具体的なリハビリテーションを説明できる。

【使用教材、参考文献等】

学校指定の書籍を使用する

【準備学習・時間外学習】

各回の予習・復習に各90分が必要である

回	授業概要	回	授業概要
1	リハビリテーションの概念	16	リハビリテーション治療技術-2
2	リハビリテーションの対象と障害者の実態	17	リハビリテーション治療技術-3
3	障害の階層とアプローチ-1	18	リハビリテーション治療技術-4
4	障害の階層とアプローチ-2	19	リハビリテーション治療技術-5
5	リハビリテーション評価学-1	20	高齢者のリハビリテーション-1
6	リハビリテーション評価学-2	21	高齢者のリハビリテーション-2
7	リハビリテーション評価学-3	22	高齢者のリハビリテーション-3
8	リハビリテーション評価学-4	23	高齢者のリハビリテーション-4
9	リハビリテーション障害学と治療学-1	24	運動器のリハビリテーション-1
10	リハビリテーション障害学と治療学-2	25	運動器のリハビリテーション-2
11	リハビリテーション障害学と治療学-3	26	運動器のリハビリテーション-3
12	リハビリテーション障害学と治療学-4	27	運動器のリハビリテーション-4
13	リハビリテーション障害学と治療学-5	28	運動器のリハビリテーション-5
14	リハビリテーション医学の関連職種	29	リハビリテーションと福祉
15	リハビリテーション治療技術-1	30	障害者スポーツ

評価法

定期試験の点数（前期：50%、後期：50%）で評価する。

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3 学年	指導担当者名	講義	開講区分	前期
柔道整復術の適応	夜間部	島谷蘭子		時間数 (単位)	30 (2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

本授業を通して、医療現場における症状やその病態特性を理解し、特に救急現場や外傷時に適切な初期対応、必要に応じて医療機関への搬送などの適切な処置ができるように学習する。

【到達目標】

上記学習と応用

【使用教材、参考文献等】

医療の中の柔道整復、標準整形外科、year note

【準備学習・時間外学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	2,A 内臓疾患の投影を疑う疼痛	16	
2	3,B 腰痛を伴う疾患	17	
3	4,C.D 化膿性の炎症、軟部組織の圧迫損傷	18	
4	3 血流障害を伴う損傷	19	
5	4 末梢神経損傷を伴う損傷	20	
6	授業 1 - 5 復習	21	
7	5 脱臼骨折 + 中間テスト①	22	
8	8 意識障害を伴う損傷	23	
9	6 外出血を伴う損傷	24	
10	9 脊髄症状のある損傷	25	
11	授業 7 - 10 復習	26	
12	7 病的骨折および脱臼 + 中間テスト②	27	
13	10 呼吸運動障害を伴う損傷、11 内臓損傷の合併が疑われる損傷	28	
14	12 高エネルギー外傷/ショックの病態	29	
15	授業 12 - 14 復習	30	

評価法

授業 1、7、12 以外は毎回、小テスト + 解説を行う、小テストは評価に含めない。

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名		3 学年	指導担当者名	講義	開講区分	前期/後期
関係法規		夜間部	島谷 夕美		時間数 (単位)	60 (2)
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)						
医療の一端を担う柔道整復師は医療制度の中で医事法規、社会保障制度を十分理解し、その職責をまっとうすること。						
【到達目標】						
柔道整復師は、医学的知識の習得はもとより、医療制限全般に係わる法令を熟知すること。						
【使用教材、参考文献等】				【準備学習・時間外学習】		
関係法規 (医歯薬出版)				法律は難しい言語が多い復習すること臨む		
回	授業概要		回	授業概要		
1	I 序論、法の意義 柔道整復の業務に必要な法を学ぶ成文法の種類、優劣順序		16	第 6 章雑則 施術所の名称制限について理解する		
2	インフォームドコンセント 概要と必要性理解する、医療事故とリスクマネジメント等		17	第 7 章罰則 罪刑法定主義について理解する。各罰則について理解する		
3	II 柔道整復法とその関連内容 柔道整復師法の目的を理解させる		18	第 7 章罰則 両罰規定について理解する		
4	第 1 章総則 定義の説明		19	第 8 章指定登録機関と指定試験機関の規定を知る		
5	第 2 章免許 柔道整復師免許の意義、効力について理解する		20	第 9 章免許の特例について知る		
6	第 2 章免許 免許を受ける為の要件を理解し説明出来るように		21	III 関係法規 医師法歯科医師法 医師法の概要が説明出来る。医師の免許と業務について		
7	第 2 章免許 免許証及び免許証明書各種申請方法について理解する		22	A 医療従事者の資格法 医療従事者の業務の差異を知る		
8	第 2 章免許 各簿登録について理解する。行政手続法による行政処分について		23	B 医療法 医療法の概要について説明出来る。 医療制限について理解する。病院等の定義を知る。		
9	第 3 章柔道整復師国家試験 国試の内容、実施、方法		24	B 医療法 広告の制限、医療安全管理、医療機関の開設、休止。		
10	第 3 章柔道整復師国家試験 国家試験資格について理解する。		25	C 社会福祉関係法規 社会福祉法の概要を知る。 業務遂行に当たり社会福祉の意義を説明出来る。		
11	第 4 章業務 柔道整復師の業務、範について説明することができる		26	D 社会保険関係法規 健康保険法と国民健康法の差異を理解する。介護保険。		
12	第 4 章業務 施術の制限について説明。医師の同意・守秘義務を理解する		27	E その他関係法規 個人情報保護の概要と定義を知る		
13	第 5 章施術所 施術所の開設、休止等の要件を知る		28	E 個人情報の適切な取扱いについてガイドラインを理解する。		
14	第 5 章施術所 施術所の構造設備基準を知る		29	日本国憲法 (抜粋) (第 3 章) 国民の権利及び義務理解度を深める		
15	第 6 章雑則 広告制限について理解する		30	総復習		
評 価 法	評価は、前期・後期 学則規定に準ずる					

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3学年	指導担当者名	講義	開講区分	前期/後期
公衆衛生学	夜間部	土門ひと美		時間数 (単位)	60 (2)

【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載）

『公衆衛生学』に出てくる統計を、ただ単に数字の推移をみるのではなく、その背景にある保健医療や生活環境をしっかりと理解し、読み解けるようにする。

【到達目標】

興味を持ち、柔道整復師として必要な『衛生学・公衆衛生学』の基本的な知識の習得を行い、地域社会に貢献で

【使用教材、参考文献等】

【準備学習・時間外学習】

『衛生学・公衆衛生学』 南江堂 『公衆衛生が 日々のニュースからも公衆衛生学に関する情報を得る

回	授業概要	回	授業概要
1	母子保健①	16	地域保健と国際保健②
2	母子保健②	17	衛生行政と保健医療の制度①
3	学校保健①	18	衛生行政と保健医療の制度②
4	学校保健②	19	衛生行政と保健医療の制度③
5	学校保健③	20	医療の倫理と安全の確保①
6	産業保健①	21	医療の倫理と安全の確保②
7	産業保健②	22	疫学①
8	産業保健③	23	疫学②
9	成人・高齢者保健①	24	国家試験対策①
10	成人・高齢者保健②	25	国家試験対策②
11	成人・高齢者保健③	26	国家試験対策③
12	成人・高齢者保健④	27	国家試験対策④
13	精神保健①	28	国家試験対策⑤
14	精神保健②	29	国家試験対策⑥
15	地域保健と国際保健①	30	国家試験対策⑦

評価法

筆記試験

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 柔道実技Ⅲ	3学年 夜間部	指導担当者名 高橋 怜往	実技	開講区分 時間数 (単位)	前期/後期 30 (1)
----------------	------------	-----------------	----	---------------------	-----------------

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校付属接骨院 (2008年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道の歴史、柔道の意義と目的などを理解させたうえで、柔道の基本姿勢、礼法、受身、投技の習得と、認定実技試験に向けての柔道の形(投の形)、約束乱取の習得を目的とする。

【到達目標】

投の形、投技の崩し、作り、掛け、受けという技の理合を習得させる。また、投技を用いて乱取を習得させる。

【使用教材、参考文献等】

【準備学習・時間外学習】

昇段審査のための柔道の形入門(投の形)(柔の形) 大泉書店

次回の予習、授業で習った動作の確認。

回	授業概要	回	授業概要
1	浮落	16	約束乱取
2	背負投	17	約束乱取
3	肩車	18	認定実技試験動作手順
4	肩車	19	認定実技試験動作手順
5	浮腰	20	手技(浮落・背負投・肩車)復習
6	払腰	21	手技(浮落・背負投・肩車)復習
7	釣込腰	22	腰技(浮腰・払腰・釣込腰)復習
8	釣込腰	23	腰技(浮腰・払腰・釣込腰)復習
9	送足払	24	足技(送足払・支釣込足・内股)復習
10	支釣込足	25	足技(送足払・支釣込足・内股)復習
11	内股	26	投技(大腰)
12	内股	27	投技(背負投)
13	投の形復習	28	投技(大内刈)
14	投の形復習	29	投技(小内刈)
15	約束乱取	30	投技復習

評価法 実技試験(出席率・受講態度を総合的に含めて評価する)

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名		3学年	指導担当者名		講義	開講区分	前期
基礎柔整Ⅲ		夜間部	佐藤 由奈			時間数 (単位)	30(1)
【実務経験】 おおはし整形外科医院勤務 (2016. 4～2020. 3) 仙台接骨医療専門学校付属接骨院 (2020. 4～)							
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)							
1・2年生で習得した内容を復習し定着させたい。総論と各論を結びつけるようにする。							
【到達目標】							
国家試験合格のための学習能力を習得する。							
【使用教材、参考文献等】				【準備学習・時間外学習】			
柔道整復理論・柔道整復学実技・整形外科学など				授業の復習			
回	授業概要			回	授業概要		
1	ガイダンス			16			
2	骨の損傷			17			
3	骨の損傷			18			
4	骨の損傷			19			
5	骨の損傷			20			
6	関節の損傷			21			
7	関節の損傷			22			
8	関節の損傷			23			
9	筋の損傷			24			
10	筋の損傷			25			
11	筋の損傷			26			
12	腱の損傷			27			
13	腱の損傷			28			
14	腱の損傷			29			
15	復習問題			30			
評価法	確認問題・定期試験・授業態度						

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 基礎柔整Ⅲ	3 学年	指導担当者名 佐藤 真希	講義	開講区分	後期
	夜間部			時間数 (単位)	30 (1)

【実務経験】岩佐接骨院（1998年4月～2002年3月）、仙台接骨医療専門学校附属接骨院（2002年4月～）

【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載）

国家試験合格にむけ総論を復習する。

【到達目標】

運動器ごとの組織特徴、症状、修復機序が理解できる。

【使用教材、参考文献等】

学校協会配布 柔道整復学

【準備学習・時間外学習】

予習をするのが望ましい。

回	授業概要	回	授業概要
1	神経総論	16	
2	神経総論	17	
3	神経総論	18	
4	神経総論	19	
5	治療法	20	
6	治療法	21	
7	治療法	22	
8	治療法	23	
9	総論国家試験対策	24	
10	総論国家試験対策	25	
11	総論国家試験対策	26	
12	総論国家試験対策	27	
13	総論国家試験対策	28	
14	総論国家試験対策	29	
15	総論国家試験対策	30	

評価法

定期試験結果の他、小テスト、授業態度、欠席状況も評価とする。

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 臨床柔整ⅢA	3学年	指導担当者名 橋本 和弥	講義	開講区分	通年
	夜間部			時間数 (単位)	60 (2)

【実務経験】

卒業後、永沼外科整形外科医院勤務 (2015.4～2016.2)

さとう接骨院 (2016.4～2019.3)

仙台接骨医療専門学校付属接骨院 (2019.4～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

下肢の骨折・脱臼・軟部組織損傷は臨床上、症状残存で日常生活に大きく影響を与える部位あり、深く理解しなければならない重要な外傷である。

国家試験のに向けて知識を深めていくことはもちろんだが、当該部位の損傷は整形疾患との鑑別を要するものや、臨床現場やスポーツ活動の場でも遭遇しやすい外傷である。これらのことを念頭に置き柔道整復学各論や解剖学的特徴を理論的に学び、臨床現場で応用できる知識を身につける必要がある。本授業では発生機序、症状および整復法を学び、国家試験に向け、また柔道整復師として臨床現場への応用につながる知識を身につける。

【到達目標】

国家試験に対応できる基礎知識を身につけるとともに、解剖学が学習に際して前提となるため、

部位別の機能解剖について学び、臨床現場で応用できる知識を身につける。

【使用教材、参考文献等】

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・理論編 改訂第5版』

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・理論編 改訂第6版』

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・実技編 改訂第2版』

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『解剖学 改訂第2版』

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『整形外科学 改訂第4版』

その他、授業内容に応じて資料を配布する。

【準備学習・時間外学習】

各授業単元の教科書の記載ページ、配布資料に目を通しておくこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	ガイダンス、国家試験について	16	脛骨顆部骨折、顆間隆起骨折①
2	骨盤骨骨折、骨盤輪骨折①	17	脛骨顆部骨折、顆間隆起骨折①
3	骨盤骨骨折、骨盤輪骨折②	18	脛骨粗面骨折、腓骨頭単独骨折
4	大腿骨骨頭・頸部・転子部①	19	膝関節脱臼
5	大腿骨骨頭・頸部・転子部②	20	膝関節脱臼、膝蓋骨骨折
6	大腿骨骨頭・頸部・転子部③	21	膝関節脱臼、膝蓋骨骨折
7	股関節脱臼①	22	膝関節の軟部組織損傷①
8	股関節脱臼②	23	膝関節の軟部組織損傷②
9	股関節の軟部組織損傷①	24	脛骨骨折、腓骨骨折
10	股関節の軟部組織損傷②	25	下腿の軟部組織損傷
11	大腿骨骨幹部骨折①	26	足部の骨折
12	大腿骨骨幹部骨折②	27	足部の骨折、
13	大腿部の軟部組織損傷	28	足部の骨折、足部の軟部組織損傷
14	大腿骨顆上骨折、遠位骨端線離開、果部骨折①	29	足部の軟部組織損傷
15	大腿骨顆上骨折、遠位骨端線離開、果部骨折②	30	まとめ

評価法
確認問題、定期試験の出題方法は国家試験にならない四肢択一または四肢択二とする。
授業中の確認問題、定期試験の結果により総合的に評価する。

2022年度 シラバス				仙台接骨医療専門学校	
授業科目名	3学年	指導担当者名	講義	開講区分	前期/後期
臨床柔整ⅢB	夜間部	佐藤 由奈		時間数 (単位)	60(2)
【実務経験】 おおはし整形外科医院勤務 (2016. 4~2020. 3) 仙台接骨医療専門学校附属接骨院 (2020. 4~)					
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)					
1・2年生で学習した骨折・脱臼・軟部組織損傷を復習しつつ 認定実技・国家試験に対応できる知識を習得する					
【到達目標】					
国家試験にむけて内容を理解する。					
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】		
柔道整復学理論 柔道整復学実技 解剖学			国家試験問題集 授業の復習		
回	授業概要		回	授業概要	
1	ガイダンス		16	手根骨骨折	
2	鎖骨骨折		17	指骨骨折	
3	上腕骨近位端部骨折		18	手関節以降の脱臼	
4	上腕骨近位端部骨折		19	肘関節脱臼・肘内障	
5	上腕骨骨幹部骨折		20	肩関節部の軟部組織損傷	
6	前腕骨遠位端部骨折		21	肩関節部の軟部組織損傷	
7	前腕骨遠位端部骨折		22	肘関節部の軟部組織損傷	
8	胸鎖関節・肩鎖関節脱臼		23	前腕部の軟部組織損傷	
9	肩関節脱臼		24	前腕部の軟部組織損傷	
10	肘関節脱臼		25	前腕以下の軟部組織損傷	
11	肘関節脱臼		26	前腕部の軟部組織損傷	
12	前腕以下の脱臼		27	末梢神経障害	
13	腱板損傷・上腕二頭筋長頭腱		28	末梢神経障害	
14	上腕骨遠位端部骨折		29	練習問題	
15	前腕骨近位端部骨折		30	練習問題	
評価法	確認問題・定期試験・授業態度				

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 臨床柔整ⅢC	3 学年 夜間部	指導担当者名 佐藤 真希	講義	開講区分 時間数 (単位)	後期 30 (1)
-----------------	-------------	-----------------	----	---------------------	--------------

【実務経験】 岩佐接骨院（1998年4月～2002年3月）、仙台接骨医療専門学校附属接骨院（2002年4月～）

【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載）

国家試験合格に向けて各論内容を復習する。また鑑別すべき疾患にも触れる。

【到達目標】

外傷ごと損傷機序、症状、治療が理解できる。

【使用教材、参考文献等】

学校協会配布 柔道整復学

【準備学習・時間外学習】

予習をするのが望ましい。

回	授業概要	回	授業概要
1	頭部・体幹	16	
2	頭部・体幹	17	
3	頭部・体幹	18	
4	頭部・体幹	19	
5	上肢	20	
6	上肢	21	
7	上肢	22	
8	上肢	23	
9	上肢	24	
10	下肢	25	
11	下肢	26	
12	下肢	27	
13	下肢	28	
14	下肢	29	
15	下肢	30	

評
価
法

定期試験結果の他、小テスト、授業態度、欠席状況も評価とする。

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3学年	指導担当者名	講義	開講区分	後期
柔道整復術適応の臨床的判定	夜間部	岩佐 和之		時間数 (単位)	30 (2)

【実務経験】 岩佐接骨院 (1977年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

問診、視診、触診、徒手検査テスト法をふまえ、全身状態の確認、局所の確認、合併症の確認などスムーズに対応できるように学んでいく。また医用画像X線読影、超音波観察装置を用いた実際の操作・読影など、理解できるように実践形式で進めていく。

【到達目標】

柔道整復術の適応について学ぶ。臨床所見から判断して、施術の適する損傷と適さない損傷を的確に判断できる能力を身に付ける。また、安全に柔道整復術を提供するための医用画像を理解する知識と能力を身につける。

【使用教材、参考文献等】

社) 全国柔道整復学校協会 「施術の適応と医用画像の理解」

【準備学習・時間外学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	「認定実技に向けて」骨折・整復、固定、包帯	16	
2	「認定実技に向けて」骨折・整復、固定、包帯	17	
3	「認定実技に向けて」アキレス腱、足関節、下腿、大腿部	18	
4	P1~8. 柔道整復師の適否を考える	19	
5	P9~21. 損傷に類似した症状を示す疾患	20	
6	p23~36. 血流障害を伴う損傷と末梢神経損傷を伴う損傷	21	
7	p37~48. 脱臼骨折・外出血を伴う損傷	22	
8	p49~57. 病的骨折および脱臼・意識障害を伴う損傷	23	
9	p59~65. 脊髄症状のある損傷	24	
10	卒業試験	25	
11	p67~80. 呼吸運動障害を伴う損傷・内臓損傷の合併が疑われる損傷・高エネルギー外傷	26	
12	p83~121. 医用画像、X線とは、主要部位の撮影法、画像のデジタル化、CTの概要、MRIの	27	
13	p121~125. 超音波画像装置の概要(原理・装置・アーチファクトの実際・運動系画像)	28	
14	超音波画像の実際・骨折・脱臼・打撲・筋挫傷(肉離れ)・その他	29	
15	超音波画像の実際・骨折・脱臼・打撲・筋挫傷(肉離れ)・その他	30	

評価法	レポート提出
-----	--------

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3 学年	指導担当者名	実技	開講区分	前期
柔整実技Ⅲ A	夜間部	岩佐 和之		時間数 (単位)	30 (1)

【実務経験】岩佐接骨院 (1977年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

問診、視診、触診、徒手検査法をふまえ、全身状態の確認、局所の確認、合併症の確認、徒手整復法における患者の肢位、助手の位置操作、術者の位置、把握部位、固定における肢位、固定材料の用意、固定包帯法、包帯固定後の神経血管損傷の確認などスムーズに対応できるように学んでいく。

【到達目標】

認定実技審査に対応できる知識と技術を習得し、臨床に沿った実技、保存療法を学ぶ。

【使用教材、参考文献等】

【準備学習・時間外学習】

社) 全国柔道整復学校協会 柔道整復学 (実技編) など

回	授業概要	回	授業概要
1	「鎖骨定型的骨折」検査法、徒手整復法、厚紙副子の作成、固定法	16	
2	〃 実技試験 (厚紙副子、リング固定、8字帯を使った固定)	17	
3	「肩鎖関節上方脱臼」検査法、Tossyの分類2・3度、整復法、副子の制作、テープ固定	18	
4	「上腕骨外科頸外転型骨折」検査法、徒手整復法、評価	19	
5	「上腕骨骨幹部骨折」ミッデルドルフ三角副子を使った固定法、実技試験	20	
6	「肩関節前方脱臼」(烏口下)検査法、整復法、副子の作成、包帯固定法、〃実技試験	21	
7	「Colles骨折」徒手整復法、包帯固定法、金属副子の形成、副子制作、整復法実技試験	22	
8	「肘関節脱臼」(両骨後方)、整復法、包帯固定法(金属副子の形成)、〃実技試験	23	
9	「肘内障」検査法、整復法、整復法実技試験	24	
10	「アキレス腱断裂」検査法、包帯固定法・金属副子の形成(下腿近位～趾先)	25	
11	「第5中手骨頸部骨折」検査法、副子の作成、包帯固定法	26	
12	「手第2指PIP関節背側脱臼」整復法、アルミ副子背側固定法	27	
13	「下腿骨骨幹部骨折」包帯固定法(クラーメル副子の形成、固定法)実技	28	
14	「肋骨骨折」厚紙副子の作成、包帯固定法	29	
15	「足関節外側靭帯損傷」病態、整復、局所副子固定法実技試験	30	

評価法

単位認定試験50%(国試対策試験)、実技試験50%(検査法、整復法、包帯固定法)

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 柔整実技ⅢA	3学年	指導担当者名 江戸 敬之	実技	開講区分	後期
	夜間部			時間数 (単位)	30 (1)

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校附属接骨院(2010年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

国家試験で重要な必修問題を理解する。内容を深く理解できるよう学習する。

【到達目標】

必修問題における知識を身に着ける。

【使用教材、参考文献等】

柔道整復理論 柔道整復実技

【準備学習・時間外学習】

授業の復習

回	授業概要	回	授業概要
1	鎖骨骨折	16	
2	上腕骨外科頸骨折	17	
3	上腕骨骨幹部骨折	18	
4	コーレス骨折	19	
5	第5中手骨頸部骨折 肋骨骨折	20	
6	肩鎖関節上方脱臼	21	
7	肩関節烏口下脱臼	22	
8	肘関節後方脱臼	23	
9	肘内障 示指PIP関節背側脱臼	24	
10	肩腱板損傷 上腕二頭筋長頭腱損傷	25	
11	大腿部打撲・肉ばなれ 大腿四頭筋 ハムストリングス	26	
12	膝関節(側副靭帯 十字靭帯 半月板 内側側副靭帯)	27	
13	下腿三頭筋肉ばなれ アキレス腱断裂	28	
14	足関節外側側副靭帯 下腿骨幹部骨折	29	
15	包帯法	30	

評価法

中間試験、定期試験

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 柔整実技ⅢB	3学年	指導担当者名 高橋 怜往	実技	開講区分	前期/後期
	夜間部			時間数 (単位)	60 (2)

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校附属接骨院 (2008年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

認定実技試験のスムーズな実施を目的とする。骨折・脱臼の整復と固定、軟部組織の検査法、テーピングを行う。外部実習に臨むにあたっての心構えを体得し、医療面接と身体診察法を理解し実践できることを目的とする。試験終了後は頭部・体幹の骨折・脱臼、体幹の軟部組織損傷を柔道整復術を用いて適切な処置を施せることを目的とする。また、誤った施術により身体に悪影響を及ぼす可能性があることをしっかりと自覚させる。

【到達目標】

認定実技試験の口述、一連の動作をマスターできる。外部実習での医療面接と身体診察法の意義を理解し、その技法を実践できることを目標とする。頭部・体幹の骨折・脱臼、体幹の軟部組織損傷を理論的に理解し、損傷程度を見極めたうえで、整復、固定、後療法の適切な処置を施せることを目標とする。

【使用教材、参考文献等】

(社) 全国柔道整復学学校協会 柔道整復学 (理論編・実技編)

【準備学習・時間外学習】

次回の予習、授業内容の復習。

回	授業概要	回	授業概要
1	肩腱板損傷	16	足関節外側靭帯損傷 (フィギュアエイト・ヒールロックテープ固定)
2	上腕二頭筋長頭腱損傷	17	全項目復習
3	ハムストリングス損傷 (肉ばなれ)	18	全項目復習
4	大腿四頭筋打撲	19	全項目復習
5	膝関節側副靭帯損傷	20	頭蓋骨骨折・眼窩底破裂・上顎骨骨折
6	膝関節十字靭帯損傷	21	頬骨・頬骨弓・鼻骨・鼻軟骨・下顎骨骨折
7	膝関節半月板損傷	22	顎関節脱臼 (前方・後方・側方)
8	下腿三頭筋損傷 (肉ばなれ)	23	肋骨・肋軟骨・胸骨骨折 胸肋関節・肋間筋損傷・胸背部打撲
9	足関節外側靭帯損傷	24	頸椎骨折
10	医療面接と身体診察法	25	胸椎骨折
11	医療面接と身体診察法	26	頸椎脱臼・胸椎脱臼
12	医療面接と身体診察法	27	頸部捻挫・頸部の疾患
13	臨床実習前施術試験	28	胸背部の軟部組織損傷
14	膝関節内側副靭帯損傷 (Xサポートテープ固定)	29	腰部の軟部組織損傷・腰部の疾患
15	足関節外側靭帯損傷 (バスケットウィーブテープ固定)	30	頭部・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷復習

評価法 定期試験 (出席率・受講態度を総合的に含めて評価する)

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3 学年	指導担当者名	実技	開講区分	後期
高齢者の外傷予防	夜間部	江戸 敬之		時間数 (単位)	30 (1)
【実務経験】 仙台接骨医療専門学校附属接骨院(2010年4月～)					
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)					
柔道整復師の業務が高齢者の外傷予防につながるように、柔道整復師と介護保険、機能訓練、機能訓練指導員との関連性、機能訓練の実際についての学習をする。					
【到達目標】					
柔道整復師の業務が高齢者の外傷予防につながるように、柔道整復師と介護保険、機能訓練、機能訓練指導員との関連性、機能訓練の実際についてを理解する。					
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】		
・柔道整復師と機能訓練指導員 機能訓練指導員養成テキスト			授業内容の復習		
回	授業概要	回	授業概要		
1	柔道整復師と介護保険	16			
2	柔道整復師と介護保険	17			
3	柔道整復師と機能訓練・機能訓練指導員	18			
4	柔道整復師と機能訓練・機能訓練指導員	19			
5	機能訓練とリハビリテーション	20			
6	高齢者の外傷予防の概説	21			
7	高齢者の外傷発生要因	22			
8	高齢者の転倒	23			
9	高齢者の転倒外傷・転倒予防	24			
10	機能訓練で提供する運動と要点	25			
11	機能訓練で提供する運動と要点	26			
12	機能訓練で提供する運動と要点	27			
13	機能訓練で提供する運動と要点	28			
14	機能訓練で提供する運動と要点	29			
15	高齢者の外傷予防対策	30			
評価法	・レポート提出				

2022年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	3 学年	指導担当者名	実技	開講区分	前期/後期
競技者の外傷予防	夜間部	金澤 錬太郎		時間数 (単位)	30 (1)
【実務経験】 仙台接骨医療専門学校付属接骨院 (1983.4～1986.3)、金澤接骨院 (1986.4～)					
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)					
運動生理学を熟知し競技者の外傷の発生要因、予防対策を知り、次に全種目のメディカルチェック、コンディショニングの方法、最後に種目別の外傷予防で終わります。					
【到達目標】					
メディカルトレーナーとしての最低限の知識と実技の修得					
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】		
日体協の教本 その他					
回	授業概要	回	授業概要		
1	運動が生体に与える影響	16			
2	運動とエネルギー代謝	17			
3	運動と骨・筋肉	18			
4	運動と呼吸・循環	19			
5	運動とホルモン	20			
6	競技者の運動生理学的特徴	21			
7	競技者の外傷予防の概要と発生要因	22			
8	外傷の予防対策	23			
9	メディカルチェックー評価と測定	24			
10	外傷予防に必要なコンディショニング方法	25			
11	種目別外傷予防 (柔道, 水泳)	26			
12	種目別外傷予防 (バスケット, サッカー)	27			
13	成長期の外傷予防 (オスグット)	28			
14	高齢者の外傷予防	29			
15	テーピング実技	30			
評価法	定期試験				

夜間部 2 年生は 2 0 2 2 年度以降、夜間部 1 年生は 2 0 2 1 年度以降、授業を開講していないので、夜間部 2 年生に関しては 2021 年度、夜間部 1 年生に関しては 2020 年度のシラバスを公開しています。

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 解剖学Ⅱ	2学年	指導担当者名 土谷昌広	開講区分	前期/後期
	夜間部		時間数 (単位)	60(2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

基本は講義中心ですが、資料（プリントなど）配布や理解度確認テストを行い、知識の統合・展開を図ります。講義では人体の構造を様々な構成レベル（階層性や器官系）に分解して、正常状態においてそれぞれがどのような役割を果たしているのか、またどのように協調してはたらくのかを学びます。

【到達目標】

人体の正常状態における器官系を基とした構造の知識を通じ、どのように生きているのかについて学ぶ

【使用教材、参考文献等】

全国柔道整復学校協会監修教科書解剖学

【準備学習・時間外学習】

行う必要がある

回	授業概要	回	授業概要
1	神経系の基礎	16	視覚
2	神経組織	17	聴覚
3	脳室系	18	その他の感覚
4	髄膜と脳脊髄液	19	感覚器のまとめ
5	脳の形態と機能①	20	体循環と肺循環
6	脳の形態と機能②	21	血管の形態と機能（総論）
7	脊髄の形態と機能	22	心臓①_形態と機能
8	伝導路	23	心臓①_形態と機能
9	脳神経系①_Ⅰ-Ⅵ	24	心臓①_形態と機能
10	脳神経系②_Ⅶ-Ⅻ	25	動脈系①_頭蓋・上肢
11	脊髄神経系	26	動脈系①_腹腔・下肢
12	自律神経系	27	静脈系①_上肢
13	神経系のまとめ	28	静脈系①_下肢・門脈系
14	皮膚の機能と構造	29	胎児循環・リンパ系
15	深部感覚器	30	循環器系のまとめ

評価法

授業態度5%（積極的に授業に参加しているか。不要な私語や携帯電話の利用がないか。）
定期試験80%

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 生理学II/高齢者の生理学的特徴と変化/競技者の生理学的特徴と変化	2 学年	指導担当者名 鈴木敏彦	開講区分	前期/後期
	夜間部		時間数 (単位)	30 (1) 15(1)×2

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師として必要な身体の機能・機序を幅広く理解する。2 学年においては解剖学で習得する神経系・心脈管系の進行を意識しつつ、神経調節、液性調節、循環生理、呼吸生理、生殖機能を習得する。機序の理解に欠かせない、「何がどうすればどうなる」という生理学的類推力を培うことに重点を置いて学習を進めていく。

【到達目標】

- | | |
|----------------------------------|---|
| ◎ 神経系の区分に応じたそれぞれの構成と特徴を説明できる。 | ◎ 全身で分泌されるホルモンと、その生理作用、分泌調節のしくみについて説明できる。 |
| ◎ 脳の高次機能について説明できる。 | ◎ 男性・女性生殖器系の構成と精子・卵子生成について説明できる。 |
| ◎ 内蔵機能の自律神経による調節について説明できる。 | ◎ 卵巣周期・月経周期の液性調節機構について説明できる。 |
| ◎ 骨格筋の神経調節と反射について説明できる。 | ◎ 妊娠と分娩、乳汁産生の生理機能について説明できる。 |
| ◎ 心機能、血管の機能について説明できる。 | ◎ 細胞・組織の加齢現象について説明できる。 |
| ◎ 血液循環の神経性調節・液性調節について説明できる。 | ◎ 高齢者の生理学的特徴について説明できる。 |
| ◎ 気道・肺による換気の機序、呼吸調節の機序について説明できる。 | ◎ 運動機能の加齢変化について説明できる。 |
| ◎ 血液と組織間でのガス交換について説明できる。 | ◎ 成長に伴う身体や運動能力の発達について説明できる。 |
| ◎ ホルモンの作用発現機序について説明できる。 | ◎ 競技者の生理学的特徴・変化について説明できる。 |

【使用教材、参考文献等】

教科書： 全国柔道整復学校協会監修 生理学（改訂第4版）

【準備学習・時間外学習】

次時予告に従い教科書に目を通しておく。また授業時の確認テストを復習に活用する。

回	授業概要	回	授業概要
1	3. 神経の生理	16	6. 内分泌
2	3. 神経の生理	17	6. 内分泌
3	3. 神経の生理	18	7. 生殖
4	3. 神経の生理	19	7. 生殖
5	4. 運動の生理	20	16. 高齢者の生理学的特徴・変化
6	4. 運動の生理	21	16. 高齢者の生理学的特徴・変化
7	4. 運動の生理	22	16. 高齢者の生理学的特徴・変化
8	10. 循環	23	16. 高齢者の生理学的特徴・変化
9	10. 循環	24	16. 高齢者の生理学的特徴・変化
10	10. 循環	25	17. 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化
11	11. 呼吸の生理	26	17. 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化
12	11. 呼吸の生理	27	17. 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化
13	11. 呼吸の生理	28	17. 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化
14	6. 内分泌	29	17. 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化
15	6. 内分泌	30	17. 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化

全30回の内、15回を生理学II、15回を競技者の生理学的特徴と変化及び高齢者の生理学的特徴と変化の授業を行う

評価
法

前期・後期の定期試験によって行う（4肢択一・択二式、その他）。

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 運動学	2学年	指導担当者名 小林 武	開講区分	前期/後期
	夜間部		時間数 (単位)	60(2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

運動学の基礎、四肢・体幹の運動学、姿勢と歩行、運動学習、運動発達等について講義を行う。なお、講義だけでなくビデオ等の視聴覚教材も使用する。本講義では、多様な疾患の医学的リハビリテーションに携わった経験のある理学療法士が、その治療学の基礎である運動学について臨床との接点の紹介を含み教授する。

【到達目標】

人間の身体運動に関する神経機構ならびに運動器の構造と機能に関する基礎的な事項を説明出来る。

【使用教材、参考文献等】

学校指定の書籍を使用する

【準備学習・時間外学習】

各回の予習・復習に各90分が必要である

回	授業概要	回	授業概要
1	運動学の目的・基礎力学 1	16	股関節の運動学 1
2	運動学の目的・基礎力学 2	17	股関節の運動学 2
3	運動器の構造と機能	18	膝関節の運動学 1
4	神経の構造と機能	19	膝関節の運動学 2
5	運動感覚	20	足関節と足趾の運動学 1
6	反射と随意運動 1	21	足関節と足趾の運動学 2
7	反射と随意運動 2	22	顔面と頭部の運動学
8	頸椎の運動学	23	姿勢
9	胸椎・腰椎の運動学	24	歩行 1
10	呼吸の運動学	25	歩行 2
11	上肢帯と肩関節の運動学 1	26	歩行 3
12	肩関節の運動学 2	27	歩行 4
13	肘関節・前腕の運動学	28	運動発達 1
14	手関節と手指の運動学 1	29	運動発達 2
15	手関節と手指の運動学 2	30	運動学習

評価法

定期試験の点数(前期:50%、後期:50%)で評価する。

2021年度 シラバス

授業科目名	2 学年	指導担当者名	前期/後期
衛生学	夜間部	大沼 英子	60 (2)
<p>【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体健康の保持・増進、疾病の予防などを図ることを目的とした科学・技術に関する学問である衛生学・公衆衛生学の基本的理論を理解するために、環境保健、健康教育、衛生行政、医療制度、社会保障など、特に健康に関わる社会や環境、統計資料、生活習慣など</p>			
<p>【到達目標】</p> <p>公衆衛生に関する統計資料などの内容を解釈し、健康の維持・増進、疾病の予防などを図るために、衛生学・公衆衛生学の概念や環境衛生、統計資料、生活習慣の現状と対策</p>			
【使用教材、参考文献等】		【準備学習・時間外学習】	
「衛生学・公衆衛生学」鈴木庄亮ほか著 南江堂		他科目の内容と関連する部分も多いため、各自で補修、復習してほしい	
回	授業概要	回	授業概要
1	衛生学とは	16	感染症の予防：感染の成立・発病 分類
2	歴史と公衆衛生学 1	17	感染症の予防：主な感染症
3	歴史と公衆衛生学 2	18	感染症の予防感染症の予防対策
4	公衆衛生活動 1	19	消毒：消毒の実際
5	公衆衛生活動 2	20	消毒：消毒の種類と方法
6	健康の概念	21	環境衛生：環境の分類と環境問題
7	健康の概念：慢性疾患と生活 1	22	環境衛生：環境要因 1
8	健康の概念：慢性疾患と生活 2	23	環境衛生：環境要因 2
9	健康の概念：健康の測定	24	環境衛生：環境汚染・公害
10	健康の概念：人口統計	25	生活環境・食品衛生活動：水の衛生と水質汚染
11	健康の概念：健康水準・健康指標	26	生活環境・食品衛生活動：衣類・住居
12	疾病予防と健康管理：疾病と疾病予防	27	生活環境・食品衛生活動：食品・食品衛生活動
13	疾病予防と健康管理：健康管理	28	生活環境・食品衛生活動：栄養改善活動
14	感染症の予防：最近の感染症の動向	29	生活環境・食品衛生活動：廃棄物処理
15	試験講評・解説	30	試験講評・解説
評価法	定期試験および小テスト・チェックテストに加え、出欠、授業態度などを含め総合的に評価を行う。小テスト・チェックテスト 20% 定期テスト 80%		

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 一般臨床医学Ⅰ	2学年	指導担当者名 武田和久	開講区分	前期/後期
	夜間部		時間数 (単位)	60(2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師にとって役に立つ医療分野の基礎知識を身につけさせる。さらには臨床兆候から体の中で何が起きているかを推論する思考力を涵養する。

【到達目標】

- ①診察から得られる徴候と病態を関連付けることができる。②生命徴候の異常と救急疾患の関係を説明できる。
③検査異常と疾患を関連付けられる。④主な呼吸器疾患について説明できる。

【使用教材、参考文献等】

一般臨床医学 (改訂第3版、医歯薬出版)

【準備学習・時間外学習】

柔道整復師国家試験出題基準 (最新版)

回	授業概要	回	授業概要
1	診察概論・医療面接	16	臨床症状：循環障害とチアノーゼ
2	視診概論	17	臨床症状：関節痛
3	視診と疾患	18	臨床症状：浮腫
4	打診と疾患	19	臨床症状：肥満と痩せ
5	聴診と疾患	20	臨床検査概論 1
6	触診と疾患	21	臨床検査概論 2
7	生命徴候と疾患	22	学習内容の振り返りと実践応用 1
8	感覚検査と疾患 1	23	呼吸器疾患総論・疾患統計
9	感覚検査と疾患 2	24	呼吸器疾患各論 1：急性感染症
10	反射検査と疾患 1	25	呼吸器疾患各論 2：慢性感染症
11	反射検査と疾患 2	26	呼吸器疾患各論 3：アレルギー性疾患
12	臨床症状：発熱	27	呼吸器疾患各論 4：閉塞性疾患と高速性疾患
13	臨床症状：出血傾向	28	呼吸器疾患各論 5：肺腫瘍
14	臨床症状：リンパ節腫脹	29	呼吸器疾患各論 6：その他の肺疾患
15	臨床症状：意識障害	30	学習内容の振り返りと実践応用 2

評価法

定期試験成績と本校学務規定に拠る。

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	2 学年	指導担当者名	開講区分	前期/後期
整形外科学	夜間部	島谷 剛美	時間数 (単位)	60 (2)
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)				
整形外科学について、基礎と臨床疾患について、出来るだけ多くの資料を提供し、理解出来るように掘り下げながら授業を展開する。必要であれば、おのおのの分野でのアップデートを紹介する。				
【到達目標】				
整形外科学の知識を、有機的に理解し運用できるようにする。				
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】	
整形外科学 (改訂第4版)			配付資料の予習	
回	授業概要	回	授業概要	
1	整形外科 歴史etc	16	体幹腰椎疾患	
2	運動器の基礎	17	肩関節疾患	
3	整形外科 診断と検査	18	上肢疾患 変性疾患と外傷	
4	整形外科の治療手段	19	骨盤疾患 (股関節含む)	
5	予防医学として ロコモティブシンドローム	20	膝関節疾患	
6	骨折総論	21	下腿及び足疾患 (外傷含む)	
7	スポーツ外傷 リハビリ総論	22	整形外科 統括	
8	骨感染症 リウマチ等関節疾患	23	※全22テーマを30講義振り分けて実施する 1～1.5コマ使用	
9	骨腫瘍 軟部腫瘍	24		
10	骨端症	25		
11	骨系統疾患	26		
12	四肢循環障害	27		
13	神経節疾患	28		
14	肩こりの医学	29		
15	頸椎疾患	30		
評価法	基本的に前後期末、及び実力試験の成績をもって評価する。			

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	2 学年	指導担当者名	開講区分	前期/後期
柔道実技Ⅱ	夜間部	大久保 貴博	時間数 (単位)	30 (1)
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)				
礼法 受け身 投の形 乱取りの習得 技の習得以外にケガをしない柔道の練習方法を学ぶ				
【到達目標】				
3年次の認定実技試験に備え緊張状態でも自然に技ができるようにする。				
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】	
柔道着			なし	
回	授業概要	回	授業概要	
1	礼法 受け身	16	釣込腰 乱取り	
2	礼法 受け身 乱取りの技 (背負投げ)	17	送足払	
3	乱取りの技 (背負投げ 小内刈り 大内刈り)	18	送足払 乱取り	
4	乱取りの技 (体落とし 大腰)	19	支釣込足	
5	浮落	20	支釣込足 乱取り	
6	浮落 乱取り	21	内股	
7	背負投げ	22	内股 乱取り	
8	背負投げ 乱取り	23	手技の復習	
9	肩車	24	手技の復習	
10	肩車 乱取り	25	腰技の復習	
11	浮腰	26	腰技の復習	
12	浮腰 乱取り	27	足技の復習	
13	払腰	28	足技の復習	
14	払腰 乱取り	29	乱取り	
15	釣込腰	30	総復習	
評価法	形を行い減点方式にて採点する (1つのミスで-5点)			

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 外傷の保存療法	2学年 夜間部	指導担当者名 高橋 怜往	開講区分 時間数 (単位)	後期 15 (1)
------------------	------------	-----------------	---------------------	--------------

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校付属接骨院 (2008年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

固定期間中の後療法、固定除去後からスポーツ復帰までのプログラムについて学習する。主に運動療法について取り上げるため、各関節の運動に関与する筋学には重点をおく。

【到達目標】

外傷ごと、どのような運動療法を実施すべきかがわかる。

【使用教材、参考文献等】

(社) 全国柔道整復学学校協会 柔道整復学 (理論編・実技編)

【準備学習・時間外学習】

次回の予習、授業内容の復習。

回	授業概要	回	授業概要
1	総論/概説	16	
2	肩部 保存療法	17	
3	肘部 保存療法	18	
4	膝部 保存療法	19	
5	足部 保存療法	20	
6	* 上記単元を15時間で実施	21	
7		22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価法

実技試験・定期試験 (出席率・受講態度を総合的に含めて評価する)

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 基礎柔整Ⅱ	2 学年	指導担当者名 松川 いずみ	開講区分	前期/後期
	夜間部		時間数 (単位)	60 (2)

【実務経験】 松川接骨院(1980.4～2004.3) 仙台接骨医療専門学校附属接骨院(2004.4～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

1年時に履修した内容を復習する。その際、2年時に履修する各論内容を交えて説明し、よりイメージしやすく、知識の定着を狙う。

【到達目標】

3年時の国家試験に向け、確実に総論内容を理解させる。

【使用教材、参考文献等】

柔道整復学・理論編

【準備学習・時間外学習】

国家試験問題集

回	授業概要	回	授業概要
1	人体に加わる力、損傷時に加わる力	16	関節の構造と基礎
2	骨の基礎	17	関節損傷の概説
3	骨の基礎	18	脱臼の基礎
4	骨損傷の概説	19	脱臼の基礎
5	骨折の分類	20	脱臼の症状～予後
6	骨折の分類	21	脱臼の症状～予後
7	骨折の症状	22	筋の解剖
8	骨折の症状	23	筋損傷の概説・分類～予後
9	骨折の合併症	24	腱損傷
10	骨折の後遺症	25	腱損傷
11	小児・高齢者の骨折	26	神経損傷
12	骨折の治癒機序	27	神経損傷
13	骨折の予後	28	診察
14	予備	29	診察
15	関節の構造と基礎	30	予備

評価法

中間試験と定期試験をもって評価とする。

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 物理療法機器等の取扱	2学年	指導担当者名 江戸 敬之	開講区分	前期
	夜間部		時間数 (単位)	15 (1)

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校付属接骨院(2010年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師の治療法の分類、骨折・脱臼の整復法、軟部組織損傷の初期処置について学習する。物理療法の意義と分類を学習し、各物理療法の効果、使用上の注意と禁忌を学習し臨床実習に備える。

【到達目標】

柔道整復師の治療法の分類、骨折・脱臼の整復法、軟部組織損傷の初期処置を理解する。物理療法の意義と分類、各物理療法の効果、使用上の注意と禁忌を理解する。

【使用教材、参考文献等】

・柔道整復学・理論編6版(社)全国柔道整復学校協会南江堂

【準備学習・時間外学習】

授業の復習

回	授業概要	回	授業概要
1	柔道整復師の治療法とは	16	
2	整復法について。徒手整復について。	17	
3	骨折の整復法	18	
4	脱臼の整復法	19	
5	軟部組織損傷の初期処置	20	
6	物理療法	21	
7	物理療法	22	
8	物理療法	23	
9	物理療法	24	
10	物理療法	25	
11	物理療法(実技)	26	
12	物理療法(実技)	27	
13	物理療法まとめ	28	
14	指導管理	29	
15	柔道整復師の治療法まとめ	30	

評 ・前期中間試験

価 前期定期試験

法 レポート

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 臨床柔整ⅡA	2学年	指導担当者名 橋本 和弥	開講区分	通年
	夜間部		時間数 (単位)	

【実務経験】

卒業後、永沼外科整形外科医院勤務 (2015.4～2016.2)

さとう接骨院 (2016.4～2019.3)

仙台接骨医療専門学校付属接骨院 (2019.4～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

上肢の骨折・脱臼・軟部組織損傷は発生頻度が高く臨床上、深く理解しなければならない重要な外傷である。

国家試験での出題率も高く、必修問題でも問われることが多い。

当該部位の損傷は臨床現場やスポーツ活動の場でも遭遇しやすい外傷ということを念頭に置き柔道整復学各論や解剖学的特徴を理論的に学び、臨床現場で応用できる知識を身につける必要がある。

本授業では発生機序、症状および整復法を学び、柔道整復師として臨床現場への応用につながる知識を身につける。

【到達目標】

国家試験に対応できる基礎知識を身につけるとともに、解剖学が学習に際して前提となるため、

部位別の機能解剖について学び、臨床現場で応用できる知識を身につける。

【使用教材、参考文献等】

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・理論編 改訂第5版』

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・理論編 改訂第6版』

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・実技編 改訂第2版』

(社) 全国柔道整復学校協会 監修『解剖学 改訂第2版』

その他、授業内容に応じて資料を配布する。

【準備学習・時間外学習】

各授業単元の教科書の記載ページ、配布資料に目を通しておくこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	ガイダンス、国家試験について	16	バンカート損傷、ヒルサック損傷
2	上肢帯の機能解剖	17	腱板損傷①
3	鎖骨骨折・脱臼①	18	腱板損傷②
4	鎖骨骨折・脱臼②	19	腱板損傷③
5	鎖骨骨折・脱臼③	20	ベネット損傷、SLAP損傷
6	肩甲骨骨折骨折①	21	肩峰下インピンジメント症候群
7	肩甲骨骨折骨折②、上腕骨骨頭骨折	22	リトルリーガー肩、
8	解剖頸骨折	23	動揺性肩関節
9	上腕骨外科頸骨折①	24	五十肩
10	上腕骨外科頸骨折②	25	石灰性腱炎、変形性関節症
11	上腕骨外科頸骨折③	26	上腕骨骨幹部骨折①
12	大・小結節骨折	27	上腕骨骨幹部骨折②
13	肩関節脱臼①	28	上腕骨骨幹部骨折③
14	肩関節脱臼②	29	末梢神経障害、橈骨・尺骨神経損傷
15	肩関節脱臼③	30	まとめ

評価法

確認問題、定期試験の出題方法は国家試験にならい四肢択一または四肢択二とする。

授業中の確認問題、定期試験の結果により総合的に評価する。

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	学年	指導担当者名	開講区分	前期/後期
臨床柔整ⅡB	夜間部	佐藤 由奈	時間数 (単位)	60(2)
【実務経験】 おおはし整形外科医院勤務(2016.4~2020.3) 仙台接骨医療専門学校付属接骨院(2020.4~)				
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)				
肘関節~手根部の骨折・脱臼・軟部組織は国家試験で出題が多い。基礎知識に加え、臨床現場でも応用できるよう教科書の内容を理解できるようにする。				
【到達目標】				
国家試験にむけ内容を理解する。				
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】	
柔道整復学理論 柔道整復学実技 解剖学			国家試験問題集 授業の復習	
回	授業概要	回	授業概要	
1	肘関節の解剖	16	両骨骨幹部骨折	
2	上腕骨顆上骨折	17	確認テスト	
3	上腕骨顆上骨折	18	コンパートメント 腱交叉症候群	
4	上腕骨顆上骨折	19	絞扼性神経障害	
5	上腕骨外顆骨折	20	絞扼性神経障害	
6	上腕骨内側上顆骨折	21	手の解剖	
7	橈骨近位端骨折	22	コーレス骨折	
8	肘頭骨折	23	コーレス骨折	
9	肘関節脱臼	24	スミス骨折	
10	肘関節脱臼	25	パートン ショウファー 橈骨遠位骨端線離開	
11	確認テスト	26	確認テスト	
12	野球肘	27	舟状骨骨折	
13	テニス肘 パンナー病 変形性肘関節症	28	手根骨骨折	
14	前腕部の解剖 橈骨骨幹部骨折	29	手根骨骨折	
15	ガレアジ骨折 モンテギア骨折 尺骨骨折	30	確認テスト	
評 価 法	確認問題・定期試験・授業態度			

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	2 学年	指導担当者名	開講区分	前期/後期
臨床柔整ⅡC	昼間部/夜間部	佐藤 真希	時間数 (単位)	60 (2)

【実務経験】 岩佐接骨院 (1998年4月～2002年3月)、仙台接骨医療専門学校附属接骨院 (2002年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師として必要な手指部外傷、骨盤骨・大腿骨の外傷についての知識習得を目指す。解剖学的な構造や運動学を理解したうえで発生機序を学び、そのような症状がなぜ出現するのか、どうすれば痛みが軽減するかを暗記ではなく学問を基に論理的に考え理解し臨床現場でも対応できるような知識の習得を目指した授業とする。尚、1年次に履修した単元は復習程度の内容のとおどめる。

【到達目標】

柔道整復師として必要な手指部外傷、骨盤骨・大腿骨の外傷についての理解を深める。とくに臨床で遭遇しやすい損傷ではどのような施術がよいかよく考え理解する。

【使用教材、参考文献等】

学校協会配布 柔道整復学 理論編 柔道整復学・実技編
解剖学、運動学

【準備学習・時間外学習】

次回やる範囲の予習をするのが望ましい。

回	授業概要	回	授業概要
1	手関節解剖 TFCC損傷	16	指 側副靭帯損傷
2	ド・ケルバン病、手根管症候群	17	ロッキングフィンガー
3	尺骨神経管症候群	18	ばね指、デュピュイトラン拘縮
4	キーンベック病 マーデルング変形 他疾患	19	ヘバーデン結節、手指変形
5	手・指部の解剖と運動学	20	骨盤骨、大腿骨、股関節の解剖学と運動学
6	中手骨骨頭骨折、頸部骨折	21	骨盤骨単独骨折
7	中手骨骨幹部骨折	22	骨盤骨裂離骨折
8	第1中手骨基部骨折	23	骨盤輪骨折と合併症
9	第5中手骨基部骨折、手根中手関節の脱臼	24	大腿骨骨頭骨折と頸部骨折
10	基節骨骨折	25	大腿骨頸部骨折 分類と合併症
11	第1中手指節関節脱臼	26	大腿骨転子部骨折、転子下骨折
12	第1指以外の中手指節関節脱臼	27	股関節脱臼
13	中節骨骨折、近位指節間関節脱臼	28	股関節後方脱臼
14	末節骨骨折、マレットフィンガー	29	股関節前方脱臼
15	遠位指節間関節脱臼	30	股関節中心性脱臼
評価法	定期試験結果の他、小テスト、授業態度、欠席状況も評価とする。		

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名		2学年	指導担当者名		開講区分	前期/後期
柔整実技ⅡA		夜間部	高橋 怜往		時間数 (単位)	60 (2)
【実務経験】 仙台接骨医療専門学校附属接骨院 (2008年4月～)						
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)						
柔道整復師が扱える上肢骨折・脱臼を、柔道整復術を用いて適切な処置を施せることを目的とする。また、誤った施術により身体に悪影響を及ぼす可能性があることをしっかりと自覚させる。						
【到達目標】						
上肢を中心とした身体の機能解剖を理解し、骨折・脱臼の程度を見極めたうえで、整復、固定、後療法の適切な処置を施せることを目標とする。						
【使用教材、参考文献等】				【準備学習・時間外学習】		
(社) 全国柔道整復学学校協会 柔道整復学 (理論編・実技編)				次回の予習、授業内容の復習。		
回	授業概要		回	授業概要		
1	鎖骨骨折 (中央・遠位1/3境界部)		16	コーレス骨折 (定型的骨折)		
2	肩鎖関節脱臼 (上方)		17	スミス骨折		
3	上腕骨外科頸骨折		18	舟状骨骨折		
4	上腕骨近位骨端線離開		19	ベネット骨折		
5	肩関節脱臼 (前方)		20	中手骨骨幹部骨折		
6	上腕骨骨幹部骨折		21	中手骨頸部骨折		
7	上腕骨顆上骨折		22	指骨骨折 (基節骨基部)		
8	上腕骨外顆骨折		23	指骨骨折 (基節骨幹部)		
9	上腕骨内側上顆骨折		24	指骨骨折 (中節骨掌側板付着部裂離骨折)		
10	肘関節脱臼 (後方)		25	指骨骨折 (頸部・骨幹部骨折)		
11	肘内障		26	PIP関節脱臼 (背側)		
12	橈骨近位端部骨折		27	第1指MP関節脱臼 (背側)		
13	肘頭骨折		28	上肢骨折・脱臼復習		
14	モンテギア骨折		29	上肢骨折・脱臼復習		
15	橈・尺両骨骨幹部骨折		30	上肢骨折・脱臼復習		
評 価 法	実技試験・定期試験 (出席率・受講態度を総合的に含めて評価する)					

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	2学年	指導担当者名	開講区分	前期/後期
柔整実技ⅡB	夜間部	江戸 敬之	時間数 (単位)	60(2)
【実務経験】 仙台接骨医療専門学校附属接骨院(2010年4月～)				
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)				
・下腿から足部までの代表的な骨折・脱臼・軟部組織損傷について、類症鑑別を行いながら、概説、発生機序、症状、治療法を学ぶ。学習内容を踏まえて認定実技審査の実技の練習を行う。				
【到達目標】				
・下腿から足部までの代表的な骨折・脱臼・軟部組織損傷について理解する。類症鑑別の知識を習得する。学習した内容を認定実技審査の実技に結びつける。				
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】	
柔道整復学・理論編、実技編。整形外科学。			授業内容の復習。認定実技審査の実技の練習。	
回	授業概要	回	授業概要	
1	授業について。下腿骨幹部骨折	16	リスフラン関節損傷	
2	下腿骨幹部骨折	17	リスフラン関節損傷	
3	下腿骨幹部骨折	18	リスフラン関節損傷	
4	下腿軟部組織損傷	19	ショパール関節損傷	
5	アキレス腱障害	20	ショパール関節損傷	
6	アキレス腱障害	21	ショパール関節損傷	
7	足関節果部骨折	22	母趾MTP関節損傷	
8	足関節果部骨折	23	母趾MTP関節損傷	
9	足関節果部骨折	24	母趾MTP関節損傷	
10	足関節捻挫	25	足底の疼痛・しびれ	
11	足関節捻挫類症鑑別	26	足底の疼痛・しびれ	
12	足関節捻挫類症鑑別	27	踵骨部の損傷	
13	距骨骨折	28	認定実技審査実技練習	
14	距骨骨折・踵骨骨折	29	認定実技審査実技練習	
15	踵骨骨折	30	認定実技審査実技練習	
評価法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前後期中間試験 ・ 前後期定期試験 ・ 授業内の実技 			

2021年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 柔整実技ⅡC	2学年 夜間部	指導担当者名 高橋 怜往	開講区分 時間数 (単位)	前期/後期 60 (2)
-----------------	------------	-----------------	---------------------	-----------------

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校付属接骨院 (2008年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師が扱える下肢骨折・脱臼・軟部組織損傷を、柔道整復術を用いて適切な処置を施せることを目的とする。また、誤った施術により身体に悪影響を及ぼす可能性があることをしっかりと自覚させる。

【到達目標】

下肢を中心とした身体の機能解剖を理解し、骨折・脱臼・軟部組織損傷を理論的に理解し、損傷程度を見極めたうえで、整復、固定、後療法の適切な処置を施せることを目標とする。

【使用教材、参考文献等】

(社) 全国柔道整復学学校協会 柔道整復学 (理論編・実技編)

【準備学習・時間外学習】

次回の予習、授業内容の復習。

回	授業概要	回	授業概要
1	股関節の機能解剖	16	膝関節の機能解剖
2	鼠径部痛症候群	17	大腿骨遠位端部骨折
3	股関節唇損傷	18	大腿骨遠位端部骨折
4	弾発股 (ばね股)	19	下腿骨近位端部骨折
5	梨状筋症候群	20	下腿骨近位端部骨折
6	股関節内転位・外転位・屈曲位拘縮	21	膝関節脱臼・膝蓋骨骨折・膝蓋骨脱臼
7	乳幼児期にみられる疾患	22	膝関節半月板損傷
8	乳幼児期にみられる疾患	23	膝関節側副靭帯損傷
9	思春期にみられる疾患	24	十字靭帯損傷
10	大腿骨頭壊死症	25	発育期の膝関節障害
11	変形性股関節症	26	発育期の膝関節障害
12	大腿部の機能解剖	27	腸脛靭帯炎・鷲足炎
13	大腿骨骨幹部骨折	28	膝蓋大腿関節障害
14	大腿骨骨幹部骨折	29	膝周囲の関節包、滑液包の異常・神経の障害
15	大腿部打撲・大腿部肉ばなれ・大腿部骨化性筋炎	30	青少年期・中高年期にみられる疾患

評価法 実技試験・定期試験 (出席率・受講態度を総合的に含めて評価する)

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 社会学	1 学年	指導担当者名 小宮 友根	月曜日	開講区分	前期
	夜間部		2 限	時間数 (単位)	30 (2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

社会学の視点から、労働、政治、法、家族といった「社会」の諸領域がどのように成り立っているのかを学ぶ。特にすべての領域を貫く「ジェンダー」の構造に注目して、そこにある諸問題を考える力を養う。自分の身の周りの生活に対する反省的な視点を持って参加すること。

【到達目標】

身近な出来事、特にジェンダーにかかわる出来事について社会的な視点から考察できるようになること。

【使用教材、参考文献等】

適宜配布する

【準備学習・時間外学習】

適宜指示する

回	授業概要	回	授業概要
1	イントロダクション	16	
2	社会学の視点	17	
3	ジェンダーとは何か	18	
4	賃金格差問題	19	
5	貧困と女性	20	
6	男女雇用機会均等法の歴史	21	
7	「女性活躍推進」とはどういうことか	22	
8	「支払われない」労働	23	
9	ワークライフバランスとポジティブアクション	24	
10	同一価値労働同一賃金	25	
11	セクシュアル・ハラスメント	26	
12	「家族」のこれから	27	
13	セクシュアリティとは何か	28	
14	セクシュアリティと労働	29	
15	全体のまとめ	30	

評価法

期末試験による

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1学年	指導担当者名	水金曜日	開講区分	前期/後期
生物学	夜間部	阿部 憲之	1限	時間数 (単位)	60 (4)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)
 人間は生物の一種である。本講義では、生物としての「人間」について、人体のつくりや生きていくための機構を学ぶ。原子、分子、高分子等、生物学を学ぶために必要な化学的知識や、細胞、組織、器官の構造や働きを、高校時に履修した「生物基礎」、「生物」の内容を踏まえて理解していく。そして、柔道整復師として必要な「解剖学」や「生理学」など専門項目の理解する基本的な知識を習得する。

【到達目標】
 生物学の基礎を学び、解剖学、生理学を理解するための基礎的学力を身に着ける。

【使用教材、参考文献等】 基本はプリントを使用 ヒトを理解するための生物学 (裳華房)	【準備学習・時間外学習】 授業前に教科書をよみ、授業内容を確認すること。
--	--

回	授業概要	回	授業概要
1	原子と分子	16	神経系
2	ヒトを構成する物質	17	神経系
3	ヒトを構成する物質	18	栄養の消化と吸収
4	細胞の構造とはたらき	19	筋
5	細胞分裂と遺伝	20	筋
6	細胞分裂と遺伝	21	循環系
7	物質の移動	22	呼吸器
8	代謝	23	呼吸器
9	代謝	24	腎臓・肝臓
10	動物の組織	25	腎臓・肝臓
11	体液と血液	26	自律神経系と内分泌系
12	体液と血液	27	自律神経系と内分泌系
13	酵素のはたらき	28	自律神経系と内分泌系
14	ニューロンとその興奮	29	感覚器
15	ニューロンとその興奮	30	感覚器

評 価 法	定期試験、中間テストと授業態度により評価する。
-------------	-------------------------

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 英語	1 学年	指導担当者名 相田 明子	火曜日	開講区分	前期/後期
	夜間部		3 限	時間数 (単位)	60 (4)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

英語の基礎力を復習しながら、医療英語の習得へと応用範囲を広げる。

外国語の学習を通して異文化を理解し、他者との共生について考える機会とする。

【到達目標】

- ①中学校・高等学校で学んだ英語の基礎を復習する。②医療現場で使われる英語表現を習得する。
③外国語の学習を通して異文化を理解する力を身につける。

【使用教材、参考文献等】

Introduction to Medical English(松柏社)

【準備学習・時間外学習】

語彙力を増やすための単語試験の準備など

回	授業概要	回	授業概要
1	授業のIntroduction. 「医療英語」について。	16	術前・述語
2	受診の予約	17	術前・述語
3	受診の予約	18	練習問題とリスニング
4	練習問題とリスニング	19	待合室での会話
5	受診	20	待合室での会話
6	受診	21	練習問題とリスニング
7	練習問題とリスニング	22	清拭
8	問診・医師による診察	23	清拭
9	問診・医師による診察	24	練習問題とリスニング
10	練習問題とリスニング	25	リハビリ
11	薬の服用	26	リハビリ
12	薬の服用	27	練習問題とリスニング
13	練習問題とリスニング	28	回復・退院許可
14	前期で学んだ語彙・表現についてまとめ	29	練習問題とリスニング
15	前期で学んだ英語表現についてまとめ	30	後期のまとめ

評 価 法 期末試験の結果による。

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 解剖学Ⅰ	1学年	指導担当者名 波田野悠夏	木曜日	開講区分	前期/後期
	夜間部		2限	時間数 (単位)	60(2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

講義は主にスライドおよびプリントを用いて行う。必要に応じて復習小テストやまとめプリントを配布し、国家試験の過去問題を解く時間も設ける。また、3次元的な位置関係が難しい頭蓋骨については分解可能な頭蓋骨模型を各学生に配布し、セクションの最終日にはスムーズに組み立てを行える事を目標とする。

【到達目標】

医療技術修得の基礎知識として、ヒトの身体の正常な構造を詳細に学ぶことを目標とする。

【使用教材、参考文献等】

【準備学習・時間外学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	導入と人体の構成	16	頭蓋骨②
2	細胞と組織	17	頭蓋骨③
3	運動器の構成	18	頭頸部の筋①
4	骨と関節	19	頭頸部の筋②
5	脊椎	20	頭頸部の筋③
6	胸郭	21	胸部の筋
7	前期小テスト・解説	22	後期小テスト・解説
8	上肢の骨①	23	腹部の筋①
9	上肢の骨②	24	腹部の筋②・背部の筋①
10	上肢の靭帯と関節	25	背部の筋②
11	下肢の骨①	26	上肢の筋①
12	前期テスト解説	27	上肢の筋②
13	下肢の骨②	28	下肢の筋①
14	下肢の靭帯と関節	29	下肢の筋②
15	頭蓋骨①	30	後期テスト解説

評価法

前期・後期の定期試験によって行う(4肢択一・択二式)。試験では筆記問題も出題する。

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 生理学Ⅰ	1学年	指導担当者名 高橋 かおり	水曜日	開講区分	前期/後期
	夜間部		3限	時間数 (単位)	60(2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復師として必要な、体の仕組みを幅広く理解する。柔道整復師資格取得を目指し、生理学の基礎的知識や生体機能を理解することを目指す。1年次は解剖学の知識を伴わない範囲から授業を進めていく。解剖学に通じる範囲は後期に行うため解剖学などほかの教科も積極的に学習してほしい。

【到達目標】

生理学の基礎的知識や生体機能を理解すること。

【使用教材、参考文献等】

全国柔道整復学校協会監修 生理学1 (南江堂)

【準備学習・時間外学習】

教科書読み、授業プリントの復習

回	授業概要	回	授業概要
1	1. 生理学の基礎 (表題数字は教科書に一致)	16	3. 神経の生理
2	1. 生理学の基礎	17	3. 神経の生理
3	1. 生理学の基礎	18	3. 神経の生理
4	1. 生理学の基礎	19	3. 神経の生理
5	13. 栄養と代謝 A	20	3. 神経の生理
6	13. 栄養と代謝 A	21	2. 筋肉の機能
7	13. 栄養と代謝 A	22	2. 筋肉の機能
8	8. 血液	23	2. 筋肉の機能
9	8. 血液	24	2. 筋肉の機能
10	8. 血液	25	9. 骨の生理学
11	8. 血液	26	9. 骨の生理学
12	13. 栄養と代謝 B-D	27	9. 骨の生理学
13	13. 栄養と代謝 B-D	28	9. 骨の生理学
14	13. 栄養と代謝 B-D	29	1年生の総復習①
15	13. 栄養と代謝 B-D	30	1年生の総復習②

評価法
定期試験2回にて評価する。
授業開始前に復習テストを実施する。日々の学習の定着度の確認と復習に利用してほしい。

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1 学年	指導担当者名	金曜日	開講区分	前期/後期
病理学	夜間部	大沼 英子	3 限	時間数 (単位)	60 (2)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

疾患の原因・経過及び症状をトータルな生命現象として理解し、細胞・組織・臓器・物質レベルで学習することで病的状態の分類・概論の基礎を習得する。さらに、疾患を理解するために各臓器に関する病変を病理学的に学ぶ。

【到達目標】

疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を理解し、各臓器に関する病変を病理学的に学ぶことで臨床医学と関連させた疾患の認識と理解を深める。

【使用教材、参考文献等】

病理学概論 改訂第3版 医歯薬出版

【準備学習・時間外学習】

解剖学・生理学など関連する分野・内容について、各自必要に応じて補修。復習してほしい

回	授業概要	回	授業概要
1	病理概説 病理の業務	16	進行性病変1 肥大・化生・再生
2	病理の業務 疾患の一般	17	進行性病変2 創傷治癒・異物の処理・移植
3	病因論1 内因	18	炎症1 原因・変化
4	病因論2 内因	19	炎症2 変化・分類
5	病因論3 外因 栄養障害	20	炎症3 分類
6	病因論4 外因 物理的外因	21	免疫1 仕組み・変化
7	病因論5 外因 化学的外因	22	免疫2 免疫不全
8	病因論6 外因 生物学的外因	23	免疫3 自己免疫疾患・アレルギー
9	細胞障害1 (定義・萎縮・変性)	24	腫瘍1 定義・特徴
10	細胞障害2 (代謝障害と疾患)	25	腫瘍2 発達段階・原因・影響・分類
11	細胞障害3 (老化・壊死・死)	26	腫瘍3 各臓器の腫瘍
12	循環障害1 (血液の循環障害: 充血・うっ血・虚血)	27	先天性異常1
13	循環障害2 (出血・止血・血栓症)	28	先天性異常2
14	循環障害3 (塞栓症・梗塞、リンパの循環障害)	29	運動器の病理
15	試験解説・まとめ	30	試験解説・まとめ

評価法

定期試験、小テスト・チェックテストおよび出欠・授業態度などを加味し総合的に評価する
定期試験 80% 小テスト・チェックテスト等 20%

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 職業倫理	1 学年	指導担当者名 島谷 夕美	月曜日	開講区分	後期
	夜間部		2 限	時間数 (単位)	15 (1)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

医療人という人間関係において生じる諸問題を解決する為に医療現場に起こるだろうと思われる事例を挙げながら、医療倫理を身につけさせたい。

【到達目標】

柔道整復師として、人々の健康づくりに携わる医療人として、求められる知識や教養、倫理の習得を目標とする。

【使用教材、参考文献等】

社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 (医歯薬出版)

【準備学習・時間外学習】

復習すること：自分の考えをまとめる

回	授業概要	回	授業概要
1	A医療従事者の職業倫理とは	16	
2	医療倫理の歴史	17	
3	医療裁判について、医療訴訟、インフォームドコンセント	18	
4	医療事故、医療過誤、ヒヤリハット	19	
5	医療従事者における守秘義務	20	
6	医療安全と柔道整復師	21	
7	施術所における事例をもとにグループ・ディスカッション	22	
8	個人情報保護	23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価法
評価は筆記試験

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1学年	指導担当者名	金曜日	開講区分	後期
柔道実技Ⅰ	夜間部	高橋 怜往	2限	時間数 (単位)	30(1)
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)					
柔道の歴史、柔道の意義と目的などを理解させたうえで、柔道の基本姿勢、礼法、受身、投技の習得と、3年後の認定実技試験に向けての柔道の形(投の形)の習得を目的とする。					
【到達目標】					
投技の崩し、作り、掛け、受けという技の理合を習得させる。					
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】		
昇段審査のための柔道の形入門(投の形)(柔の形) 大泉書店			次回の予習、授業で習った動作の確認。		
回	授業概要	回	授業概要		
1	柔道の歴史	16	大内刈		
2	柔道の特性と基本動作	17	小内刈		
3	柔道の特性と基本動作	18	小内刈		
4	受身(前・横・後ろ)	19	払腰		
5	受身(前・横・後ろ)	20	払腰		
6	受身(前回り)	21	内股		
7	受身(前回り)	22	内股		
8	受身(前回り)	23	送足払		
9	支釣込足	24	送足払		
10	支釣込足	25	体落		
11	大腰	26	体落		
12	大腰	27	大外刈		
13	背負投	28	大外刈		
14	背負投	29	投技復習		
15	大内刈	30	投技復習		
評 価 法	実技試験(出席率・受講態度を総合的に含めて評価する)				

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1 学年	指導担当者名	月曜日	開講区分	後期
社会保障制度	夜間部	島谷 夕美	2 限	時間数 (単位)	15 (1)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

医療人という人間関係において生じる諸問題を、解決するべく為に、社
 社会保障制度について学び柔道整復師として現場で対処できるように

【到達目標】

柔道整復師になる為に必要な、社会保障制度についての仕組み、種類、具体的な保障内容について知る

【使用教材、参考文献等】

社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 (医歯薬出版)

【準備学習・時間外学習】

復習すること、自分の考えをまとめる

回	授業概要	回	授業概要
1	社会保障とは	16	
2	社会保険制度とは	17	
3	介護保険、公的年金、公衆衛生の意義	18	
4	医療保険制度とは	19	
5	保険診療の概要	20	
6	診療報酬制度	21	
7	療養費制度の概 (柔道整復療養費について)	22	
8	柔道整復療養費の推移、療養費請求のケーススタディ	23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評
価
法
評価は筆記試験

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 基礎柔整ⅠA	1学年	指導担当者名 松川 いずみ	水曜日	開講区分	前期/後期
	夜間部		2限	時間数 (単位)	60(2)

【実務経験】松川接骨院(1980.4～2004.3) 仙台接骨医療専門学校(2004.3～)

【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

教科書(総論)P12～15、P21～47、P59～66を学習する。これにより、次年度の各論への移行が容易になることを目的とする。初めて学ぶ教科であるためプリントをはじめ、イメージしやすい臨床事例等を紹介することで理解へと導く。教科書中心の授業とする。ページの順を追って進めていく予定なので、各自十分な予習・復

【到達目標】

①明確な原因がなくても『損傷』は発生するということを理解できる。②骨の構造を理解できる。③骨折がどのようなものかを理解できる

【使用教材、参考文献等】

「柔道整復学・理論編」「標準整形外科」など

【準備学習・時間外学習】

特に復習に重点をおいた学習

回	授業概要	回	授業概要
1	授業方針の説明、人体に加わる力	16	骨折の合併症③
2	人体に加わる力、損傷時に加わる力	17	骨折の合併症④
3	骨の形態と機能、骨の構造①	18	骨折の合併症⑤
4	骨の構造②	19	骨折の合併症⑥
5	骨の構造③	20	骨折の合併症⑦
6	骨の構造④、骨損傷概説、骨損傷に加わる力	21	小児骨折の特徴①
7	骨折の分類①	22	小児骨折の特徴②
8	骨折の分類②	23	小児骨折の特徴③、高齢者骨折の特徴①
9	骨折の分類③	24	高齢者骨折の特徴②、骨折の癒合日数
10	骨折の分類④	25	骨折の治癒経過①
11	骨折の分類⑤、骨折の症状①	26	骨折の治癒経過②、骨折の予後
12	骨折の症状②	27	骨折の治癒に影響を与える因子
13	骨折の症状③	28	脱臼
14	骨折の合併症①	29	脱臼
15	骨折の合併症②	30	脱臼

評価法

中間試験と定期試験をもって評価とする。

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 基礎柔整ⅠB	1学年	指導担当者名 江戸 敬之	火・木曜日	開講区分	前期/後期
	夜間部		1限	時間数 (単位)	60(2)

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校(2010年4月～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

筋組織、腱組織の形態、機能、構造などを理解したうえで、筋損傷、腱損傷の概説、損傷の分類、症状、治療機序、予後に対する知識の習得を目指す。整復法(骨折の整復法、脱臼の整復法、軟部組織損傷の初期処置)を理解し、臨床に応用できる知識の習得を目指す。

【到達目標】

2、3年時の筋損傷、腱損傷各論に備え、筋損傷、腱損傷の概説、分類、症状、予後を理解する。

2、3年時の各論の内容に備え、整復法の適応、目的、諸注意などを理解する。

【使用教材、参考文献等】

・柔道整復学・理論編6版(社)全国柔道整復学校協会南江堂
配布資料

【準備学習・時間外学習】

・授業の復習、レポート作成

回	授業概要	回	授業概要
1	授業について、学習上の注意点など	16	整復法、骨折の整復法
2	治療法、軟部組織損傷の初期処置	17	骨折の整復法
3	軟部組織損傷の初期処置	18	脱臼の整復法
4	筋とは、筋の構造	19	腱とは、腱の構造
5	筋の構造	20	腱の構造
6	筋の形状、名称、筋の起始・停止	21	腱の補助装置
7	筋の形状、名称、筋の起始・停止	22	腱の補助装置
8	筋の補助装置	23	腱損傷の概説
9	筋の補助装置	24	腱損傷の分類
10	筋の脈管および血管・筋線維の種類	25	腱損傷の分類
11	筋損傷の概説	26	腱損傷の症状
12	筋損傷の分類	27	腱損傷の治療機序
13	筋損傷の分類	28	復習
14	筋損傷の症状	29	復習
15	筋損傷の治療機序、予後	30	復習

評価法

・前後期中間試験、前後期定期試験、レポート等により行う。

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1 学年	指導担当者名	月曜日	開講区分	前期/後期
基礎柔整 I C	夜間部	佐藤 真希	3 限	時間数 (単位)	30 (1)

【実務経験】岩佐接骨院（1998年4月～2002年3月）、仙台接骨医療専門学校（2002年4月～）

【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載）

柔道整復師として臨床現場で遭遇しやすい関節損傷や脱臼、疾患への理解を深める。

まず一般関節を学びその後、各部位の構造的特徴や運動について授業を行う。

【到達目標】

各部位の関節の特徴がわかる。また捻挫や脱臼などの関節損傷機序と判断の仕方が説明できる。

【使用教材、参考文献等】

学校協会 柔道整復理論 6版

【準備学習・時間外学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	関節の機能・形態と分類①	16	/
2	関節の機能・形態と分類②	17	
3	関節の機能・形態と分類③	18	
4	関節軟骨損傷①	19	
5	関節軟骨損傷②	20	
6	関節軟骨損傷③	21	
7	変形性関節症	22	
8	靭帯損傷①	23	
9	靭帯損傷②	24	
10	靭帯損傷③	25	
11	他関節損傷	26	
12	脱臼①	27	
13	脱臼②	28	
14	脱臼③	29	
15	脱臼④	30	

評価法

定期試験、中間試験、授業態度、欠席日数などで評価。

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 臨床柔整ⅠA	1学年	指導担当者名 橋本 和弥	土曜日	開講区分 時間数 (単位)	通年 60(2)
	夜間部		1限		

【実務経験】

永沼外科整形外科医院勤務(2015.4~2016.2)、さとう接骨院(2016.4~2019.3)、仙台接骨医療専門学校(2019.4~)

【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

診察は患者の病態を把握し治療方針を決定するために不可欠な業務である。

この授業では診察から後療法までの流れを理解して患者に対し柔道整復師の業務を的確に行うための

技術と知識を身につける。また頭部・顔面は、外傷時に重篤な病状への変化につながりやすく、

国家試験でも出題される部位である。ここでは柔道整復理論に加え、

一般臨床医学の内容も含めて理解を深め現場での応用と国家試験にも対応できる知識を身につける。

【到達目標】

診察から後療法までの流れを理解し、柔道整復師の業務を的確に行えるように知識を身につけるとともに、

国家試験に対応できる知識を身につける。

【使用教材、参考文献等】

(社)全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・理論編 改訂第5版』

(社)全国柔道整復学校協会 監修『柔道整復学・理論編 改訂第6版』

(社)全国柔道整復学校協会 監修『解剖学 改訂第2版』

(社)全国柔道整復学校協会 監修『整形外科学 改訂第4版』

(社)全国柔道整復学校協会 監修『一般臨床医学 改訂第3版』

その他、授業内容に応じて資料を配布する。

【準備学習・時間外学習】

各授業単元の教科書の記載ページ、配布資料に目を通しておくこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	ガイダンス、国家試験について	16	頭部、顔面部の機能解剖、国家試験(出題率)
2	骨折・脱臼の概念、柔道整復師の業務範囲	17	頭蓋冠骨折①
3	運動器とは	18	頭蓋冠骨折②、頭蓋底骨折①
4	診察の注意点、診察手順、病歴聴取	19	頭蓋底骨折②
5	身体診察の流れ(視診、触診、計測など)①	20	鼻骨骨折、鼻軟骨骨折
6	身体診察の流れ(視診、触診、計測など)②	21	眼窩底破裂骨折
7	診察の時期分類、治療計画作成、施術録①	22	頬骨骨折
8	診察の時期分類、治療計画作成、施術録②	23	下顎骨骨折①
9	後療法とは	24	下顎骨骨折②
10	手技療法①	25	顎関節脱臼①
11	手技療法②	26	顎関節脱臼②
12	運動療法①	27	頭部、顔面部の打撲、顎関節症①
13	運動療法②	28	顎関節症②
14	物理療法	29	顎関節症③
15	診察、後療法まとめ	30	頭部、顔面部まとめ

評価法

確認問題、中間試験、定期試験の出題方法は穴埋め、四肢択一または四肢択二とする。

授業中の確認問題、中間試験、定期試験の結果により総合的に評価する。

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1学年	指導担当者名	土曜日	開講区分	前期
臨床柔整ⅠB	夜間部	佐藤 由奈	2限	時間数 (単位)	30(1)

【実務経験】 おおはし整形外科医院勤務 (2016. 4~2020. 3) 仙台接骨医療専門学校 (2020. 4~)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

柔道整復学を学ぶにあたり、医療専門用語の理解は大事であり、これから知識が増えるにつれ運動器の基礎を身につけておくことは重要である。解剖学や運動学と関連性を持ち理解するよう学習する。

【到達目標】

医療専門用語、運動器に関する基礎的知識を身につける。

【使用教材、参考文献等】

柔道整復学理論 解剖学 運動学

【準備学習・時間外学習】

教科書記載のページ 授業の復習

回	授業概要	回	授業概要
1	ガイダンス	16	
2	骨折・脱臼の概念、柔道整復師の業務範囲	17	
3	運動器とは	18	
4	四肢体幹の各名称、体節	19	
5	運動面	20	
6	運動軸	21	
7	関節の構造	22	
8	関節形状	23	
9	運動の表し方 (上肢)	24	
10	運動の表し方 (上肢)	25	
11	運動の表し方 (下肢)	26	
12	運動の表し方 (下肢)	27	
13	運動の表し方 (体幹、その他)	28	
14	外力の用語、骨折・脱臼に加わる外力	29	
15	まとめ	30	

評価法 確認問題・定期試験

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 臨床柔整ⅠC	1学年	指導担当者名 佐藤 由奈	土曜日	開講区分	後期
	夜間部		2限	時間数 (単位)	30(1)

【実務経験】 おおはし整形外科医院勤務 (2016. 4~2020. 3) 仙台接骨医療専門学校 (2020. 4~)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

脊柱は神経系と深く関わる部位のため、体幹の骨折・脱臼は重篤な合併症を発症することがあり理解する必要がある。

【到達目標】

国家試験にむけて内容を理解する。

【使用教材、参考文献等】

柔道整復学理論 解剖学 運動学

【準備学習・時間外学習】

教科書記載のページ 授業の復習

回	授業概要	回	授業概要
1	ガイダンス 頸椎の機能解剖	16	/
2	環椎骨折	17	
3	軸椎骨折	18	
4	中・下位頸椎骨折	19	
5	頸椎脱臼	20	
6	胸椎の機能解剖 肋骨骨折 肋軟骨骨折	21	
7	肋骨骨折 肋軟骨骨折	22	
8	胸骨骨折 上部胸椎棘突起骨折	23	
9	胸椎椎体圧迫骨折	24	
10	胸椎の脱臼(脱臼骨折)	25	
11	腰椎の機能解剖	26	
12	下位腰椎椎体圧迫骨折	27	
13	チャンス骨折 腰椎椎体圧迫骨折	28	
14	腰椎肋骨突起骨折	29	
15	腰椎脱臼 まとめ	30	

評

価 確認問題・定期試験

法

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1 学年	指導担当者名	木曜日	開講区分	前期/後期
柔整実技ⅠA	夜間部	大久保 貴博	3 限	時間数 (単位)	60 (2)

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校 (2004.4~2019.3)、おおくぼ整骨院 (2019.4~)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

よく見られる上肢の軟部組織損傷について、損傷部位の解剖(骨、筋、靭帯等)、発生機序、症状、徒手検査法、損傷部位に対する包帯固定法などを学習する。

【到達目標】

損傷部位の解剖、発生機序、症状、徒手検査法を理解し、適切な包帯固定ができる。

【使用教材、参考文献等】

柔道整復学・理論編、実技編。包帯固定学

【準備学習・時間外学習】

授業内容の復習。包帯実技の練習。

回	授業概要	回	授業概要
1	上肢について。軟部組織損傷について。	16	ド・ケルバン病
2	包帯固定について。基本包帯法。良肢位。	17	ばね指
3	上腕二頭筋損傷①	18	マレットフィンガー
4	上腕二頭筋損傷②	19	ロッキングフィンガー
5	腱板損傷①	20	手指捻挫
6	腱板損傷②	21	手部・手指の包帯実技①
7	五十肩	22	手部・手指の包帯実技②
8	インピンジメント症候群	23	手部・手指の包帯実技③
9	肩部の包帯実技①	24	手指部の変性疾患および変形①
10	肩部の包帯実技②	25	手指部の変性疾患および変形②
11	野球肘、テニス肘	26	上肢その他の軟部組織損傷①
12	肘関節捻挫	27	上肢その他の軟部組織損傷②
13	肘関節の包帯実技①	28	上肢の軟部組織損傷・まとめ
14	肘関節の包帯実技②	29	上肢の軟部組織損傷・包帯実技まとめ①
15	肩部、肘関節の包帯実技・まとめ	30	上肢の軟部組織損傷・包帯実技まとめ②

評
価
法

- ・小テスト
- ・定期試験
- ・授業内の実技

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1 学年	指導担当者名	金曜日	開講区分	前期/後期
柔整実技 I B	夜間部	佐藤 真希	2 限	時間数 (単位)	60 (2)

【実務経験】 岩佐接骨院（1998年4月～2002年3月）、仙台接骨医療専門学校（2002年4月～）

【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載）

検査法と包帯法の基礎知識と技術を指導する。身近な外傷を取り上げ、損傷程度の判断とこれに見合う施術内容を考え、どのような施術プログラムを組み立てるべきか基本的な内容を学ぶ。各筋の筋力検査法など各種検査法を実施するとともに包帯固定法を実施する。

【到達目標】

各部位の検査法と症状に見合う包帯固定が実施できる。

【使用教材、参考文献等】

学校協会配布 包帯固定学

【準備学習・時間外学習】

包帯練習

回	授業概要	回	授業概要
1	固定の目的、固定材料の種類	16	小児股関節疾患①
2	巻軸帯の巻き方/巻き戻し方と注意事項	17	小児股関節疾患②
3	基本包帯①	18	小児股関節疾患③
4	基本包帯②	19	膝内障①
5	基本包帯③	20	膝内障②
6	部位別包帯①	21	膝内障③
7	部位別包帯②	22	膝内障④
8	部位別包帯③	23	膝スポーツ外傷①
9	部位別包帯④	24	膝スポーツ外傷②
10	部位別包帯⑤	25	足関節捻挫①
11	部位別包帯⑥	26	足関節捻挫②
12	部位別包帯⑦	27	足関節捻挫③
13	さらし包帯作成	28	足部障害①
14	実技試験	29	足部障害②
15	さらし包帯固定	30	実技試験

評
価
法

定期試験、授業内実技試験、授業態度で評価

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名 柔整実技ⅠC	1学年	指導担当者名 金澤 錬太郎	月曜日	開講区分 時間数 (単位)	後期
	夜間部		3限		30(1)

【実務経験】 仙台接骨医療専門学校 (1983.4～1986.3)、金澤接骨院 (1986.4～)

【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)

包帯の基礎と伝統的な包帯法を学ぶため、授業内で包帯法を実施する。

【到達目標】

基本包帯法を習得できる。

【使用教材、参考文献等】

包帯固定学

【準備学習・時間外学習】

授業外で包帯法を練習。

回	授業概要	回	授業概要
1	固定 (目的、範囲、肢位) 固定材料の種類	16	
2	巻軸帯の巻き方と注意事項	17	
3	基本包帯法	18	
4	部位別包帯法 (手関節部、手部)	19	
5	部位別包帯法 (肘部、前腕部)	20	
6	部位別包帯法 (股関節部、大腿部)	21	
7	部位別包帯法 (膝関節部、下腿部)	22	
8	部位別包帯法 (足関節、足趾部)	23	
9	部位別包帯法 (頭部、顔面部)	24	
10	部位別包帯法 (胸部、背部)	25	
11	冠名包帯法 (ヴェルポー、ジュール)	26	
12	冠名包帯法 (デゾー包帯法 右側)	27	
13	冠名包帯法 (デゾー包帯法 左側)	28	
14	テーピングⅠ	29	
15	テーピングⅡ	30	

評
価
法

授業内実技試験で評価

2020年度 シラバス

仙台接骨医療専門学校

授業科目名	1学年	指導担当者名	月～土曜日	開講区分	前期/後期
臨床実習	夜間部	鳥谷、松川、佐藤、江戸、高橋、橋本	限	時間数 (単位)	45(1)
【実務経験】接骨院にて柔道整復師として勤務					
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある講師・教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載)					
<p>学校内での実習を通し、挨拶や身だしなみ、院内清掃や整理整頓、物理療法機器の取り扱い(種類、適応禁忌等)、手技療法の適応禁忌等、患者対応など施術者としての基本的な知識、動作などを身につける。</p> <p>外傷に対する診察から検査法、整復法、固定法までの一連の動作を実習する。</p>					
【到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・施術者としての清潔感のある身だしなみができる。・院内の清掃や整理整頓ができる。・挨拶ができる。 ・患者との対応ができる(受付業務等)。・物理療法機器の使用法、適応禁忌等を理解する。 ・手技療法の適応禁忌等を理解する。 ・外傷に対する診察から検査法、整復法、固定法までの一連の動作を理解する。 					
【使用教材、参考文献等】			【準備学習・時間外学習】		
柔道整復学理論編改訂第6版・配布資料					
回	授業概要		備考		
1	身だしなみ、挨拶、患者対応		左記8回を45時間で行う		
2	挨拶や受付業務				
3	院内清掃や整理整頓の手順				
4	カルテ整理の方法等				
5	手技療法の種類、適応禁忌等				
6	物理療法機器の取り扱い(種類、適応禁忌等)				
7	外傷に対する診察、検査法、整復法、固定法(上肢)				
8	外傷に対する診察、検査法、整復法、固定法(下肢)				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価法	レポート、実習日誌等で行う。				